

平成 25 年度

神奈川県立体育センター研究報告書

神奈川県総合型地域スポーツクラブ運営の現状と課題

神奈川県立体育センター  
スポーツ推進班

【テーマ設定の理由】	1
【目的】	1
【内容及び方法】	1
1 研究の期間	1
2 研究の内容	1
3 対象	1
4 研究の方法	2
【資料の整理分析・考察】	3
1 県内総合型クラブの概要	3
2 分析シートについて	5
3 カテゴリごとの運営課題調査項目別集計結果分析および考察	10
【まとめ】	17
【引用文献】	17
【参考資料】	18

# 「神奈川県総合型地域スポーツクラブ運営の現状と課題」

スポーツ推進班 千葉正範 逸見育磨 池田 剛 大西理也

## 【テーマ設定の理由】

文部科学省は、平成 12 年 9 月に「スポーツ振興基本計画」を策定し、その中で「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」を打ち出した。そして「2010 年（平成 22 年）までに、全国の各市区町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成する」ことを到達目標に、全国で普及啓発が進められてきた。「総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」<sup>1)</sup>によると、平成 25 年 7 月時点で、全国には総合型地域スポーツクラブ（以下総合型クラブという）が、創設済み 3,237 クラブ（うち休止中 32 クラブ）、準備中 256 クラブ、合計 3,493 クラブが創設された。また、神奈川県においては、平成 26 年 2 月 1 日現在、総合型クラブは、創設済み 76 クラブ（うち休止中 1 クラブ）、準備中 12 クラブ（うち休止中 2 クラブ）、合計 88 クラブが県内 33 市町村のうち 25 市町村において創設されている。

総合型クラブは、国民のスポーツ実施率の向上や地域社会の活性化等に寄与するとともに、地域のスポーツ環境を地域住民が主体的に創り出すという意識変革をもたらす等、我が国の地域スポーツの中核を担うものに成長しつつある。その一方で、各総合型クラブの運営においては課題が多数あることも明確になってきている。「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」<sup>1)</sup>によれば、「クラブの現在の課題」としては、会員の確保や財源の確保、指導者の確保、会員の世代の拡大、活動拠点施設の確保などが挙げられている。過去の神奈川県立体育センターにおける研究では、県内のクラブにおいても同様の傾向であることがわかっている。

神奈川県立体育センターでは、広域スポーツセンター活動事業として、広域スポーツセンタークラブアドバイザーを配置し、職員とともに地域巡回相談・支援業務を実施している。そこでは各総合型クラブの活動状況を確認し、クラブ担当者からの聞き取り調査を行ってきた。

そこで、これまでの総合型クラブ巡回相談の際の復命書やヒアリングシートから、クラブの現状およびクラブが抱える課題等を整理し、分析することで、課題に対する解決方策を探ることができるのではないかと考え、本テーマを設定した。

## 【目的】

県内総合型クラブの運営の現状と課題を整理し、安定したクラブ運営の一助とする。

## 【内容及び方法】

### 1 研究の期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

### 2 研究の内容

県内創設済み総合型クラブ 74 クラブ（平成 25 年 6 月末時点）の巡回相談時におけるヒアリングシート等を整理、分析することで、安定したクラブ運営への解決方法を探る。

### 3 対象

県内創設済み総合型クラブ 74 クラブ（平成 25 年 6 月末時点）

#### 4 研究の方法

- 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査の整理  
「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査<sup>1)</sup>」から県内の総合型クラブの概要を整理する。
- 分析シートの作成  
総合型クラブの課題、問題点、特徴などが抽出できる分析シート（資料1）を作成する。
- 結果の整理分析及び考察  
分析シートを用いて過去3カ年に行われた総合型クラブ巡回相談・支援の復命書（参考資料1）と、ヒアリングシート（参考資料2）を基に整理する。  
整理したデータを、会員規模、活動種目、活動費、活動拠点施設についてカテゴリ設定し、分析考察を行う。

## 【資料の整理分析・考察】

### 1 県内総合型クラブの概要

(図の凡例は「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査<sup>1)</sup>」に準じている)

#### (1) クラブ会員規模

クラブの会員規模は、「101～300人」が39.2%、「301～1000人」が31.1%、「1～100人」が24.3%、「1001人～」が5.4%となっている。

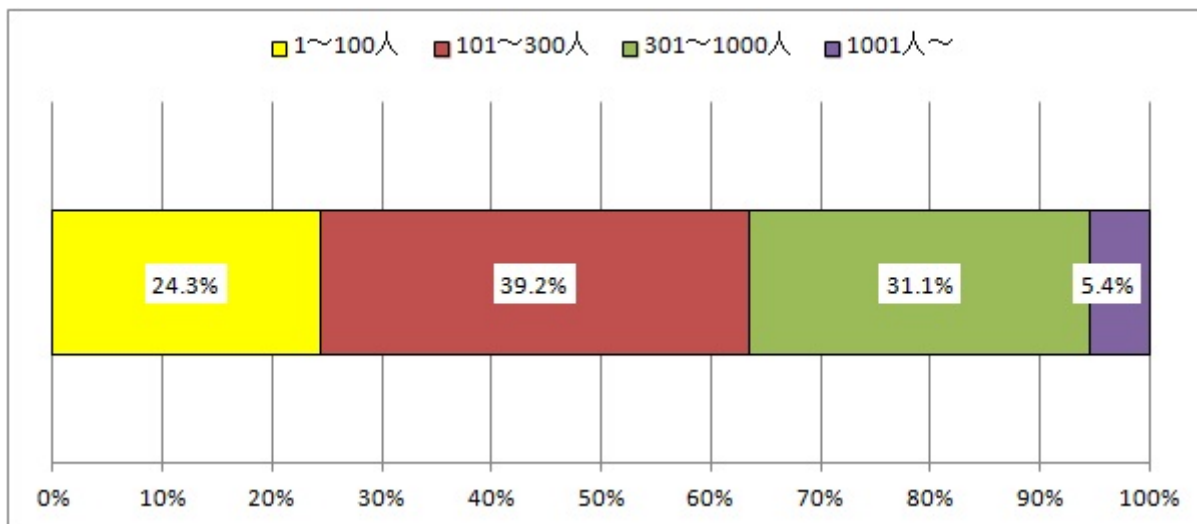


図1 会員規模

N=74 クラブ

#### (2) クラブの活動種目数

クラブの活動種目数は、「3～5種目」が45.9%で最も多く、「6～10種目」が32.4%、「11～20種目」が13.5%となっている。

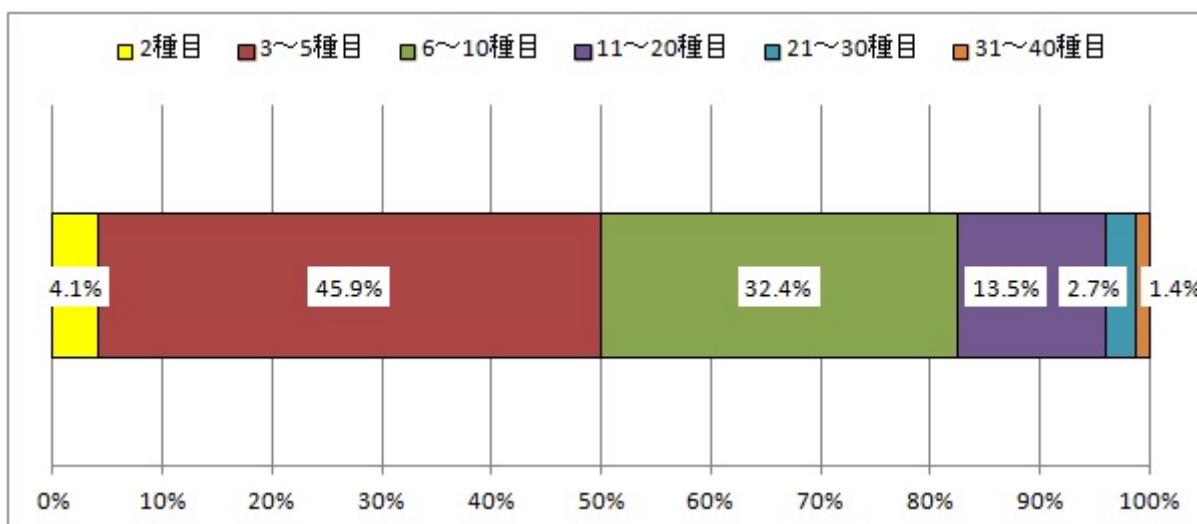


図2 活動種目数

N=74 クラブ

### (3) クラブの活動費

クラブの年間活動費は、「1～1,000千円」が36.5%と最も多く、続いて「10,001千円以上」が14.9%、「6,001～7,000千円」と「9,001～10,000千円」が8.1%となっている。

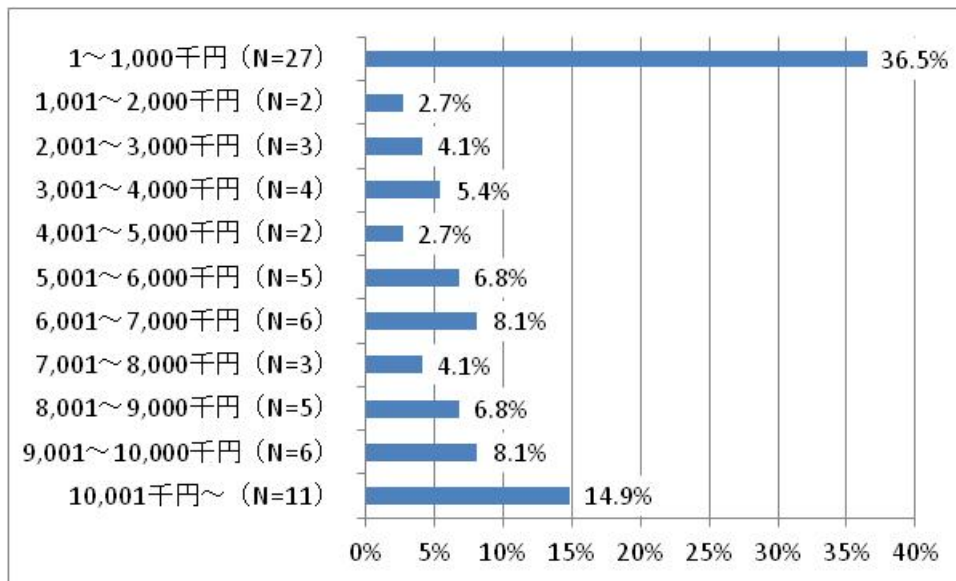


図3 活動費

N=74 クラブ

### (4) クラブの活動拠点施設

活動拠点施設の種類は、「学校体育施設」が54.1%で最も多く、「公共スポーツ施設」が29.7%、「自己所有施設」が8.1%、「休校・廃校施設」が2.7%、「民間スポーツ施設」が1.4%となっている。「その他」は4.1%であるが、3クラブいずれも海岸を活動拠点としている。

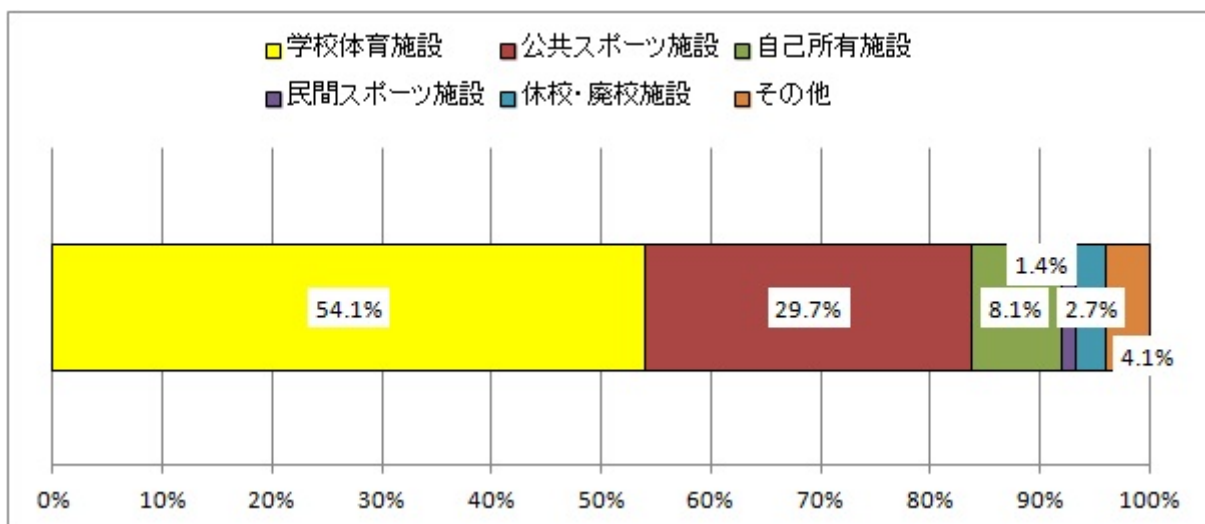


図4 活動拠点施設

N=74 クラブ

## 2 分析シートについて

### (1) 分析シート

分析シートは、復命書およびヒアリングシートから、総合型クラブの課題、問題点、特徴など機械的に抽出できるよう、31の調査項目（「総合型クラブ運営課題調査項目」とする）を設定し集計するものとした。総合型クラブ運営課題調査項目は、「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査<sup>1)</sup>」での課題や、クラブ巡回の際の復命書とヒアリングシートに挙げられた課題等を参考に、広域スポーツセンタークラブアドバイザーと協議の上、決定した。

表1 分析シート内の総合型クラブ運営課題調査項目

総合型クラブ運営課題調査項目

1. 法人格が必要であると考えている。
2. 会員を増やすことが重要であると考えている。
3. 会員の世代（性別）を広げることが重要であると考えている。
4. 会員の加入率、継続率を向上させることが重要であると考えている。
5. 地域住民のニーズを知ることが重要であると考えている。
6. 現在のクラブ状況に、会員は満足していると考えている。
7. 既存クラブとの会員の取り合いが起きている。
8. 学校と連携することが重要であると考えている。
9. 種目協会や市町村地区自治会などの地域の組織と連携（協力）すること（「認知されること」）が重要であると考えている。
10. 他クラブとの連携（総合型地域スポーツクラブ以外も含む）が重要であると考えている。
11. 認知度アップ（総合型クラブ、自クラブについて）が重要であると考えている。
12. 広報の手立て（HP作成、チラシ作成・配布など）を得ることが重要であると考えている。
13. クラブ運営を行う人材（後継者やボランティアなど）発掘が重要であると考えている。
14. 有償のマネジャーや事務局員の配置が重要であると考えている。
15. クラブ運営に関わる人たちのモチベーションを上げる方策を得ることが重要であると考えている。
16. クラブ内で、総合型クラブの理念の共通認識を図ることが重要であると考えている。
17. 有資格指導者を確保することが重要であると考えている。
18. 新規に導入する種目の指導者を確保することが重要であると考えている。
19. トップレベルの指導者を確保することが重要であると考えている。
20. 現有指導者に、資格取得させることが重要であると考えている。
21. 会費を値上げ（会費の金額設定変更）が急務であると考えている。
22. toto助成が重要であると考えている。
23. 市町村、体協（公的機関など）からの助成が重要であると考えている。
24. クラブ運営におけるスポンサーを確保することが重要であると考えている。
25. 体育施設の指定管理者事業（スポーツ活動以外の事業を含む）を実施することが重要であると考えている。
26. 活動に使用する道具（スポーツ用品等）を購入したいと考えている。
27. 活動に使用する道具（スポーツ用品等）を借用、譲り受けたいと考えている。
28. 種目数を増やすことが重要であると考えている。
29. 活動する施設（グラウンド、体育館等）確保が重要であると考えている。
30. 活動を補完する施設（クラブハウス、倉庫等）確保が重要であると考えている。
31. 施設整備（芝生化、照明設置、温水シャワー設置等）が重要であると考えている。



(2) 分析シートを用いた集計

総合型クラブ運営課題調査項目について、平成 23 年度～25 年度に行われた総合型クラブ巡回相談・支援の復命書（74 クラブ 176 回）および、ヒアリングシートに、記載がある事項を整理し集計する。

		巡回日					
		H / - / -	H / - / -	H / - / -	H / - / -	H / - / -	H / - / -
<p><b>・クラブ巡回・相談の復命書の記載事項を読み取り、下記の調査内容について読み取れる内容があれば、取り出し、その回答となる意味を斟酌して○・×いずれかを丸印で囲ってください。無ければ「-」を丸印で囲ってください。</b></p> <p>例) 会員(クラブ員)増やしたいと考えている。                  ○ ... 新規会員獲得に向けたイベントなどを企画している。など考えている場合。                  × ... 新規会員獲得は狙っていない。現有会員での活動をしていく。など。                  - ... 話題にしていない。復命書に該当する記載がない場合。</p> <p>・読み取った部分を、復命書にラインマーカーでチェックを入れてください。                  ・特筆すべき事項は、「特記事項あり」にチェックを入れて別紙にご記入ください。</p>	NO.						
	クラブNO.						
	市町村						
	区						
	クラブ名						
クラブ	マネジメントサイクルのなかの成長過程は、「導入期・成長（発展）期・衰退（減衰）期」のどれにあたるか。	↑・ア・△	↑・ア・△	↑・ア・△	↑・ア・△	↑・ア・△	↑・ア・△
クラブ役員	クラブ役員は、クラブ規模拡大を考えるポジティブクラブなのか、現有に満足しているネガティブクラブなのか	ア・→・△	ア・→・△	ア・→・△	ア・→・△	ア・→・△	ア・→・△
クラブ	法人格が必要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	会員を増やすことが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	会員の世代（性別）を広げることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	会員の加入率、継続率を向上させることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	地域住民のニーズがわかることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	現在のクラブ状況に、会員は満足していると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	既存クラブとの会員の取り合いが起こっている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
外部連携	学校と連携することが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
外部連携	種目協会や市町村地区自治会などの地域の組織と連携（協力）すること（「認知されること」）が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
外部連携・広報	他クラブとの連携（総合型地域スポーツクラブ以外も含む）が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
広報	認知度アップ（総合型クラブ、自クラブについて）が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
広報	広報の手立て（HP作成、チラシ作成・配布など）を得ることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	クラブ運営を行う人材（後継者やボランティアなど）発掘が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	有償のマネジャーや事務局員の配置が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	クラブ運営に関わる人たちのモチベーションを上げる方策を得ることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
クラブ役員	クラブ内で、総合型クラブの理念の共通認識を図ることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
指導者	有資格指導者を確保（他クラブから招聘）することが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
指導者	新規に導入する種目の指導者を確保することが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
指導者	トップレベルの指導者を確保することが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
指導者	現有指導者に、資格取得させることが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
財源確保	会費を値上げ（会費の金額設定変更）が急務であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
財源確保	toto助成に懸案がある（アフターtotoなども含める）と考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
財源確保	市町村、体協（公的機関など）からの助成が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
財源確保	クラブ運営におけるスポンサーを確保することが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
財源確保	体育施設の指定管理者事業（スポーツ活動以外の事業を含む）を実施することが重要であると	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
道具	活動に使用する道具（スポーツ用品等）を購入することが急務であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
道具	活動に使用する道具（スポーツ用品等）を借用、譲受けすることが急務であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
種目	種目数を増やすことが重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
施設	活動する施設（グラウンド、体育館等）確保が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
施設	活動を補完する施設（クラブハウス、倉庫等）確保が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
施設	施設整備（芝生化、照明設置、温水シャワー設置等）が重要であると考えている。	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-	○・×・-
特記事項	特筆すべき事項がある。	○・-	○・-	○・-	○・-	○・-	○・-

### (3) カテゴリ設定

ア 会員規模について、小規模クラブと大規模クラブの課題の傾向を探るために、「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査<sup>1)</sup>」で使用されている凡例を引用し、「1～100人」、「101～300人」、「301～1000人」「1001人以上」の4分割で行うこととした。

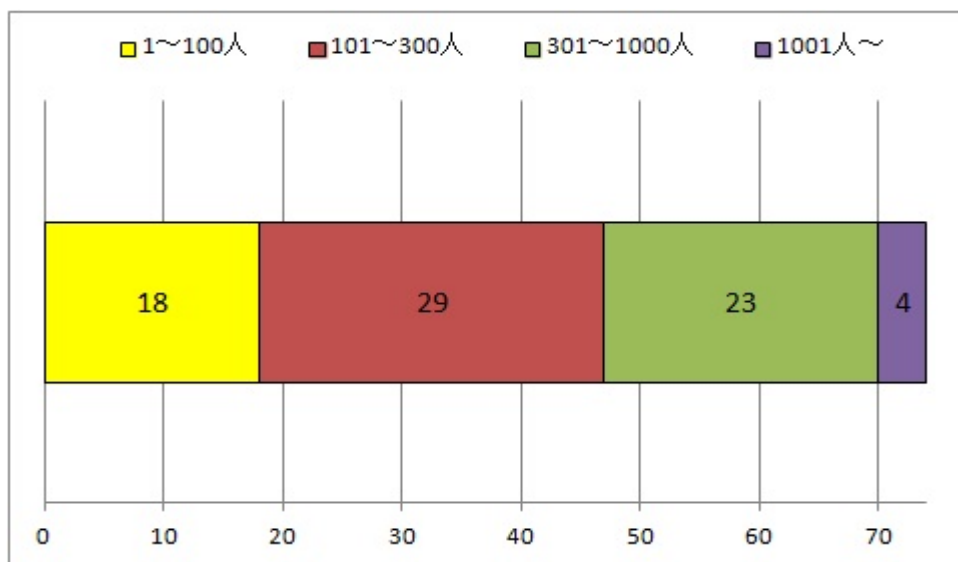


図1 会員規模 N=74 クラブ

イ 活動種目数について、総合型クラブが展開している種目の多いクラブと少ないクラブの課題の傾向を探るため、「2～3種目」、「4～6種目」、「7種目以上」の3分割で行うこととした。

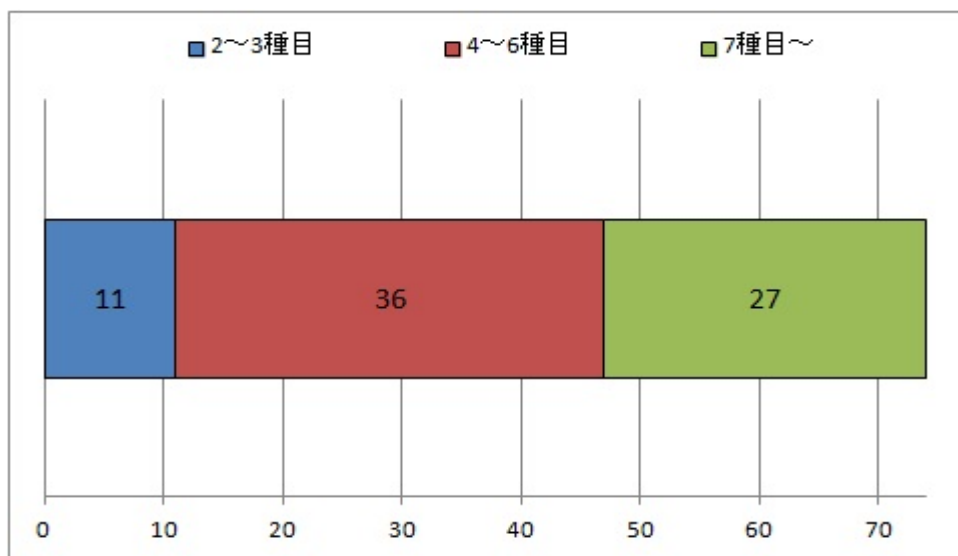


図6 活動種目数 N=74 クラブ

ウ 活動費について、クラブ活動費の多いクラブと少ないクラブの課題の傾向を探るため、またクラブ数の平均化を考慮し、「1～3,000 千円」、「3,001～10,000 千円」、「10,001 千円～」の3分割で行うこととした。

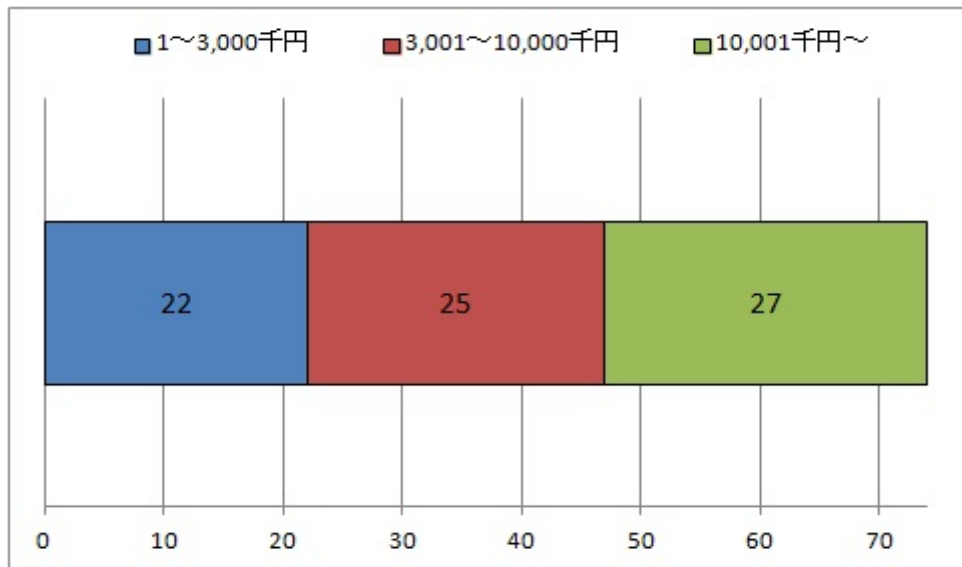


図7 活動費 N=74 クラブ

エ 活動拠点施設について、拠点場所ごとの課題の傾向を探るために、「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査<sup>1)</sup>」の凡例を活用して、学校体育施設と休校・廃校施設を併せて「学校体育施設」、「公共スポーツ施設」、自己所有施設と民間スポーツ施設を併せて「民間スポーツ施設」、「その他」の4つに分けることとした。

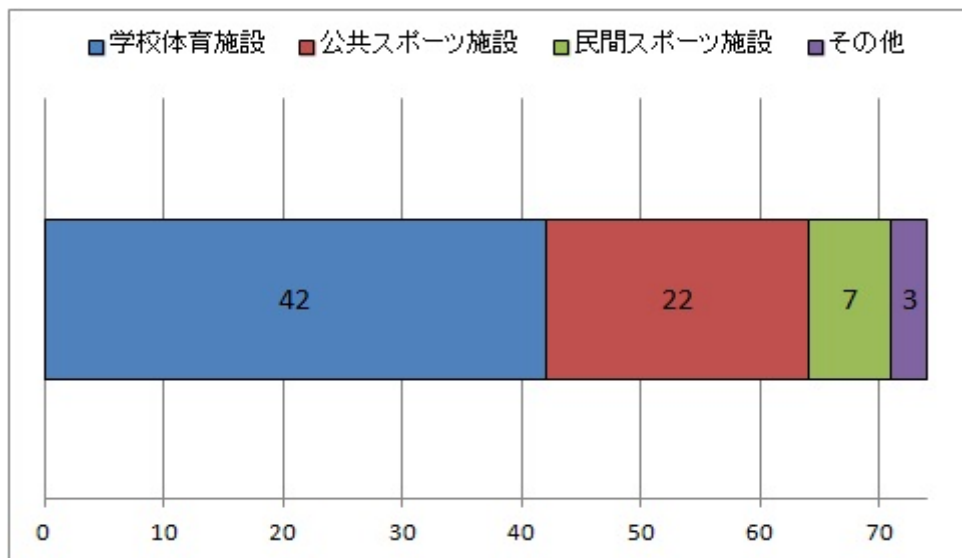


図8 活動拠点施設 N=74 クラブ

### 3. カテゴリごとの運営課題調査項目別集計結果分析および考察

#### ア 会員規模

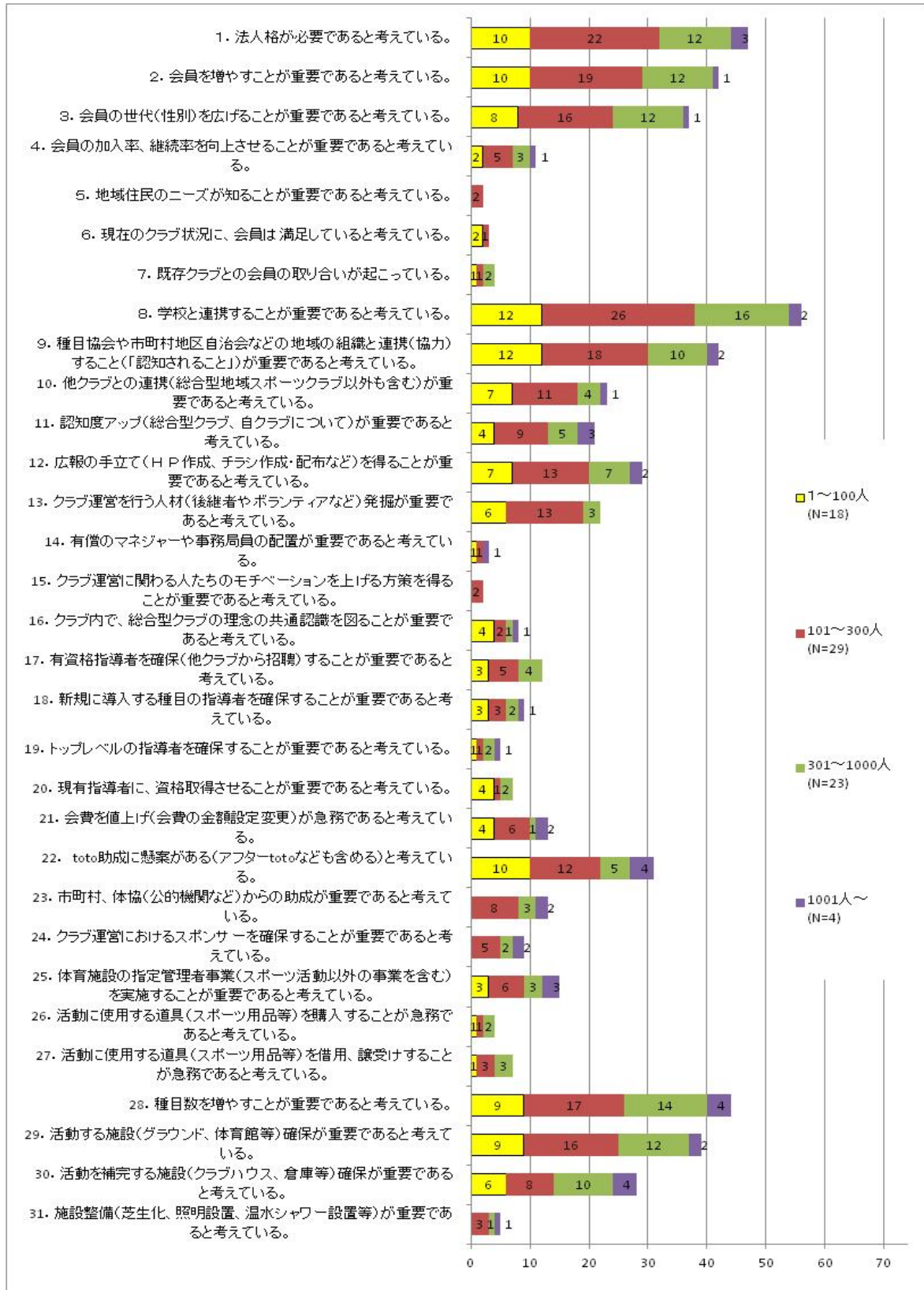


図9 会員規模

N=74 クラブ

全てのカテゴリにおいて、割合の高かった項目を順番に並べると、「8. 学校と連携することが重要であると考えている」、「1. 法人格が必要であると考えている」、「28. 種目数を増やすことが重要であると考えている」、「2. 会員を増やすことが重要であると考えている」、「9. 種目協会や市町村地区自治会などの地域の組織と連携（協力）すること（「認知されること」）が重要であると考えている」、「29. 活動する施設（グラウンド、体育館等）確保が重要であると考えている」となった。

会員規模のカテゴリで、会員数「1～100」人（N=18）のクラブにおいて、「2. 会員を増やすことが重要であると考えている」は10クラブである。一方で、「5. 地域住民のニーズを知ることが重要であると考えている」はなかった。規模の小さいクラブでは、会員を増やしたいと考えているが、地域住民のニーズを知ることが重要であるとは考えていない傾向があることがわかった。

会員数「1001～」人（N=4）のすべてのクラブにおいては、「22. toto助成が重要であると考えている」、「28. 種目数を増やすことが重要であると考えている」、「30. 活動を補完する施設（クラブハウス、倉庫等）確保が重要であると考えている」の項目に該当した。このことからクラブ運営への意識が高いことが推察される。

## イ 活動種目数



図 10 活動種目数

N=74 クラブ

種目数「7種目～」(N=27)のクラブにおいて、「3. 会員の世代(性別)を広げることが重要である」は17クラブであり、種目数の多いクラブは、多世代へ活動を広げる意欲が高いことがうかがえる。

ウ 活動費



図 11 活動費

N=74 クラブ



活動費「1～3,000千円」(N=27)のクラブにおいて、「13. クラブ運営を行う人材(後継者やボランティアなど)発掘が重要であると考えている」は12クラブである。「14. 有償のマネージャーや事務局員の配置が重要であると考えている」は1クラブであることから、活動費が比較的少ないクラブにとっては、クラブ運営をボランティア等に頼る傾向がうかがえる。

エ 活動拠点施設

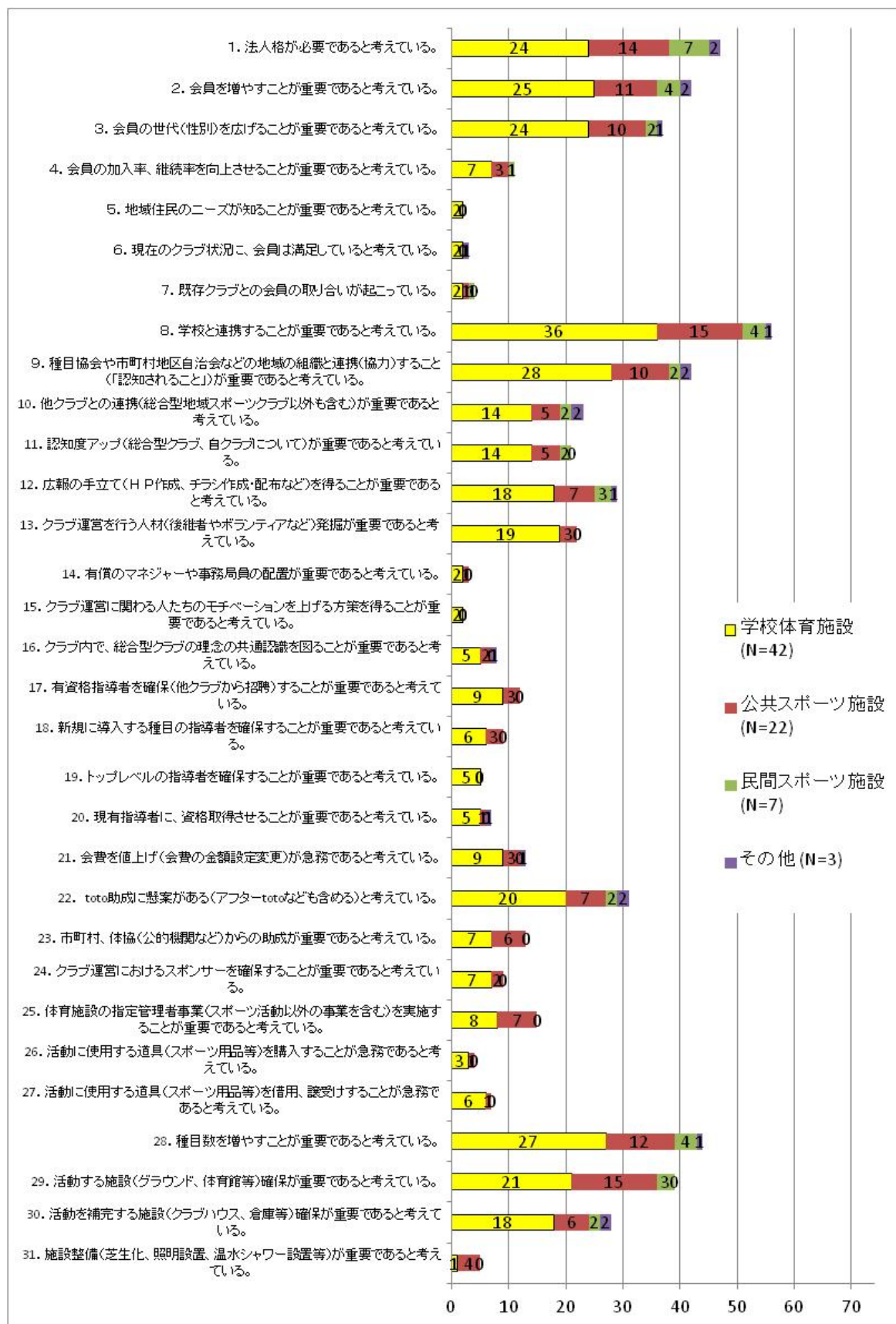


図 12 活動拠点施設

N=74 クラブ

活動拠点施設「学校体育施設」(N=42)のクラブにおいて、「8. 学校と連携することが重要であると考えている」は36クラブである。活動の拠点として使用している学校との連携は欠かすことができない。また、活動拠点施設「公共スポーツ施設」(N=22)においても「8. 学校と連携することが重要であると考えている」は15クラブである。各クラブでは学校施設を使用するだけでなく、地域スポーツと学校教育との連携等の意識や、地域が子ども達を支援する意識が高まってきていることも考えられる。

## 【まとめ】

本研究結果から、県内の総合型クラブの課題がより明確になってきた。多くのクラブで「会員を増やすことが重要である」と考えているが、一方で「地域住民のニーズを知ることが重要である」と考えているクラブは少ないことがわかった。クラブ会員を増加させるなど、クラブを発展させたい気持ちはあるものの、その具体的な解決策を得ることができていない現状がある。

運営を行う体制として、「クラブ運営を行う人材の発掘が重要である」と考えながらも、「有償のマネジャーや事務局員の配置が重要である」、「クラブ運営に関わる人たちのモチベーションを上げる方策を得ることが重要である」などと考えているクラブは少ない。これは総合型クラブの持続可能な運営体制としては未発達な状態であることの表れであろう。さらに、指導者についても、「有資格指導者を確保することが重要である」、「現有指導者に、資格取得させることが重要である」などと考えているクラブは少ない。スポーツ基本計画で明示されている指導者の充実に向けて、運営者がその重要性を理解し、各クラブにおいて充実を図る必要がある。

県内74クラブの活動費平均額は、20,550千円(神奈川県立体育センター調べ)であり、全国のクラブの平均額4,790千円の4倍を超えている。そのうち41クラブが日本スポーツ振興くじ助成(toto助成)を受けており、助成終了後も見据え、自主財源率を高め、長期的に健全な財政基盤を作る必要がある。

県内総合型クラブの半数以上が、学校体育施設を中心に活動しており、学校との連携は不可欠である。しかし公共施設や民間施設を利用しているクラブにとっても、「学校と連携することは重要である」と考えている。これは施設の使用に関するものだけではなく、地域スポーツと学校教育との連携等の意識や、地域が子ども達を支援する意識が高まっていることが考えられる。各クラブの意識を捉え、学校との橋渡しをすることも必要である。

県内総合型クラブの運営者の方々は、多くの情熱を傾け、勉強し、より良いクラブを目指して日々努力をしている。そのクラブが、スポーツを通して地域の好循環を生み、「新しい公共」を担い、地域住民のコミュニティの核となることが出来るよう、広域スポーツセンターとして継続して支援し、各総合型クラブの定着化を図っていきたい。

## 【引用文献】

- 1) 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課(2013)平成25年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果概要「平成25年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」、「平成25年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」

**【参考資料】**

- ・ 総合型クラブ巡回相談・支援復命書（参考資料1）
- ・ ヒアリングシート（参考資料2）

所長

副所長(兼)管理課長

課長補佐

課員

事業部長

指導研究課長

研修指導班長

調査研究班長

生涯スポーツ課長

スポーツ推進班員

スポーツ情報班長

例

復 命 書

平成 年 月 日 ( ) に、 市立 中学校において開催されました「  
 スポーツクラブ 巡回指導・相談」を実施しましたところ、その概要は次のとおりでした。

平成 年 月 日 ( )  
 体育センター所長 殿

生涯スポーツ課長

スポーツ推進班 主事

広域スポーツセンターアドバイザー

1 件 名 「  
 スポーツクラブ 巡回指導・相談」

2 日 時 平成 年 月 日 ( ) 17時30分～19時30分

3 対 応 者   
 スポーツクラブ 氏

4 概 要

- 平成 19 年 2 月 26 日に設立され、 市立 中学校内にクラブハウスがあり、同中学校の学校施設の安全管理事業を受託しながら同中学校で活動している。
- 定期活動種目はバドミントン、卓球、サッカー、野球、フラッグフットボール、ニュースポーツ、フラダンス、ヨガ、バレーボール、スナッグゴルフ、ゴルフ、バスケットボール、ピラティス、合気道、殺陣教室、英会話、茶道、囲碁、3B体操、太極拳、キッズチャンバラ、走り方教室、ウォーキング&ランニング、小笠原流礼法教室、トレーニングである。
- スポーツセンターの指定管理を受託している。
- 活動場所は 市立 中学校、 市立 小学校である。
- 会員数は約 2000 名である。

## 5 内 容

### (1) 事業視察

ア 巡回指導・相談当日は、**市立** **中学校**の体育館入り口横にあるクラブハウスや学校施設を見学させていただき、その後クラブの現在の状況や実際の活動を見学させていただいた。巡回当日は雨模様で、グラウンドコンディションも悪く、いつも参加者 100 名程になる走り方教室は中止になってしまったが、近隣の小学生に大変人気があるそうである。体育館ではフリーのバドミントン教室、武道場では合気道教室などが実施されていた。クラブハウス奥の会議室では、囲碁教室や英会話教室なども開催され、トレーニングルームもあり、会員は自由に活動することができる。平日の夜間は毎日様々な種目が実施されていて、ハイキングや米作り&収穫、雪遊び、そり体験などの人気イベントも実施している。

### (2) ヒアリング (別紙参照)

ア クラブの現状について

(ア) 県内では総合型地域スポーツクラブの代表格であり、リーダー的存在である。「**市立** **中学校** **スポーツクラブ**」内には、「一般社団法人神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク」の事務局を置き、**氏**が事務局長を務めている。

(イ) 東京の**総合型地域スポーツクラブとの連携事業**やイベント事業の取り組みをすすめており、全国総合型地域スポーツクラブ連絡協議会への提言なども積極的に行っている。

イ 学校や地域との連携について

(ア) **市立** **中学校**とは常に連携しながら活動を進めている。生徒が学校活動をしている隣の空き教室で、地域住民が活動することも珍しくないそうである。

ウ クラブの今後の方向性

(ア) 会員数が増加しているので、会員管理の方法を検討していきたい。また、指導者に支払う指導者謝金の管理システムを再検討したい。

エ 県や市に期待する支援について

(ア) 県内、市内の総合型地域スポーツクラブ同士の連携をすすめるためには、**関係機関との調整や協力が重要**だと考えている。今後とも支援の継続をお願いしたい。

## 6 所 感

「**市立** **中学校** **スポーツクラブ**」は、**学校施設を活用し、学校と連携**した総合型地域スポーツクラブとして、全国的な総合型地域スポーツクラブ関連の**スポーツ情報誌等でも紹介されている**が、初めから現在のようなスタイルで運営されていた訳ではなく、現在の姿はスタッフと多くの地域の有志がこつこつと作りあげてきた成果であると感じた。今や地域には欠かせないクラブとして存在しているが、同クラブは、神奈川県総合型地域スポーツクラブの先導役としても欠かせない存在なので、今後も情報を共有しながら県内の総合型地域スポーツクラブに対する支援をすすめていきたい。(文責 **氏**)

## 総合型地域スポーツクラブ概要ヒアリングシート

①ヒアリング：平成25年 月 日／②会場： /③訪問者：

項目	確認内容	HP掲載
市区町村		
クラブ名		
設立年月日（予定）		
法人格の有無（予定）		
代表者名		
クラブマネージャー名		
事務担当者名		
連絡先住所		
郵便番号		
電話番号		
FAX番号		
メールアドレス		
設立母体		
会員総数		
入会金		
会費（月）		
参加費（会費以外）		
主な活動種目 （実施日数/週）		
種目数		
イベント等		
活動拠点		
広報活動		
クラブ指導者数 （クラブに所属の指導者）		
事務局員の配置		
会費・参加費収入以外の財源 （補助金・助成金等）		
クラブハウスの有無		
H23年度年間予算		
特色ある取り組み		
クラブの課題、問題点		
要望		
その他		